

中田 平教授の紹介

中田 平教授は、2014年3月31日をもって金城学院大学国際情報学部を定年によりご退職されました。

先生は、1975年4月に、文学部にフランス語担当の専任講師として着任なさいましたが、その後コンピュータの教育活用にご尽力をなされ、1993年から4年間初代マルチメディアセンター長としてインターネット接続を開始するなど現在のマルチメディアセンターの礎を築きました。また、2度目のマルチメディアセンター長時代にはMoodleとgmailを含むGoogle Appsを導入しました。



これまでにマルチメディアコンテンツ制作を精力的になされ、1990年に『ハイパーフランス革命』で、第2回日本語ハイパーカードスタックウェア・コンテスト（アップルコンピュータジャパン主催）のグランプリを受賞され、それ以降、教師が学生と共に制作する本格的なマルチメディアコンテンツソフト作成のパイオニアとして注目され続けてきました。

1996年に設置された現代文化学部の開設準備にご尽力をなされ、情報文化学科の教授となられてからは、『バーチャル明治村』で第3回情報文化学会賞を受賞し、産学連携による映像コンテンツ『金城ポッドウォーク』やFMラジオ番組をiTunesとYouTubeで配信をしてこられました。また、CGで再現した『忘れられた博覧会—名古屋汎太平洋平和博覧会—』は、2005年2月に中京テレビで「時空を超えた博覧会」という番組で取り上げられ、その後、今でも公共機関から資料やCG画像の提供を求められています。

執筆活動もこれまでに精力的になされ、吉本隆明氏との共著「ミシェル・フーコーと『共同幻想論』」を、また情報文化関係として『マクルーハンの贈り物』や『Moodle入門』、『Google Appsの教科書』などを、そして最近では出版社を立ち上げ、「追悼吉本隆明 ミシェル・フーコーと『共同幻想論』」の印刷および電子書籍の出版をはじめ『共同幻想論』のフランス語訳『Illusion commune』の電子出版も開始しています。

先生は、2002年以来、特定非営利活動法人東海インターネット協議会理事長として、現在もインターネットにおける情報の発展に寄与されておられます。

中田 平先生のご退職にあたり、論集委員会と執筆者一同は、先生のご健康とますますのご活躍を祈願しまして、ここに論集記念号を献呈いたします。

なお、先生は、2014年4月1日から国際情報学部の非常勤講師として着任されています。

EPUB 3 時代における電子出版の現状と個人出版の可能性

Current state of e-publishing in EPUB3 age and the Possibility of Self Publishing

中 田 平

Hitoshi NAKATA

© Key Words: EPUB 3, KDP, iBooks, Kobo, 青空文庫, ドットブック, 緊デジ, 共同幻想論

1. はじめに

2013年になって世界の電子出版の潮流に乗り遅れていた日本でもようやく電子出版が本格的な時代を迎えることになった。まず第1に、電子出版の世界規格のEPUBがV3の規格になったことによって、懸案であった日本語の縦書やルビ、アラビア語の右から左への記法が認められるなどアルファベット以外の言語にも対応することになったからである。第2に、Kindle Direct PublishingやApple iBooksやKoboの日本市場への登場で、出版界に黒船による開国のようなインパクトを与えたからである。この論文では、これまでの電子出版の歴史を振り返るとともに、既存の出版社や編集者とは独立に個人で電子書籍を出版する可能性とその方法について論じる。

2. EPUB とは何か

EPUB 3 を論じる前に、そもそもEPUBとは何かをみておこう。

EPUB (Electronic PUblicationの略) とは電子書籍のフォーマットの一つで、米国の国際電子出版フォーラム (International

Digital Publishing Forum, IDPF¹⁾) が推奨している電子書籍用XHTMLのサブセット的なファイル・フォーマットである。EPUBが重要なのは、電子書籍用ファイル・フォーマットとして公開された共通規格によるオープンな世界標準の規格化を進めていることであり、言語や国に関係なく、誰でも電子書籍を作る共通基盤を提供していることである。2007年9月、IDPFはEPUBを公式の規格とした。

This specification, the Open Publication Structure (OPS), is one third of a triumvirate of modular specifications that make up the EPUB publication format. EPUB enables the creation and transport of reflowable digital books and other types of content as single-file digital publications that are interoperable between disparate EPUB-compliant reading devices and applications. EPUB encompasses a content container standard (Open Container

1) <http://idpf.org/>

Format — OCF), a packaging standard (Open Packaging Format — OPF), and this specification, a content markup standard.²⁾

「この仕様書、オープン・パブリケーション構造 (OPS) は、EPUB出版フォーマットを構成するモジュール仕様の三要素の一つである。EPUBは、異種EPUB準拠の読み取り装置とアプリケーション間で相互運用可能であるリフロー型デジタル書籍およびその他のタイプのコンテンツを単一ファイルのデジタル出版物として作成し転送することを可能にする。EPUBはコンテンツコンテナ規格 (オープンコンテナフォーマット=OCF)、包装標準規格 (オープンパッケージングフォーマット=OPF)、およびこの仕様であるコンテンツ・マークアップ標準規格を包含するものである。」

つまり、IDPFはここに述べられたOCF、OPF、およびOPSの3要素をもってEPUBと定義したのである。³⁾ いろいろな説明の仕方があるが、この3要素 (triumvirate) を簡潔に説明するには (この文章はEPUB 3に関するものであるが、EPUBの定義として使ってさしつかえないだろう) 次の文章を引用するのが適当だろうと思う。

「しかし、EPUBを手っ取り早く理解するには、その制作プロセスをざっ

と分析するのが最適だろう。

EPUBを制作する最初のステップは (単独または複数の) コンテンツ文書 (contents document) を作ることだ。コンテンツ文書はXHTML5文書かSVG画像のいずれか、または両者の混在したものでなければならない (標準的でないフォーマットの利用方法について、ここでは触れない)。ウェブページを作ったことのある人ならば、EPUBのコンテンツを作ることはたやすいだろう。そしてウェブページを作ったことがなくとも、Word文書を整形するよりも手軽にコンテンツを作ることのできる、洗練されたレイアウトプログラムが数多くある (中にはEPUBのあらゆる制作プロセスをこなすプログラムさえある)。⁴⁾ ただし、一般的なコンテンツ文書は、適切なレンダリングのために (CSSスタイルシート、画像、マルチメディアのクリップ、スクリプトファイルなど) さまざまな種類のリソースを参照しているはずだ。後でこれらのリソースはすべて最終的な配布ファイルの中にまとめる必要がある点に注意してほしい。

コンテンツを作り終わったのなら、次のステップはパッケージ文書 (package document) を作ることだ。これはリーディングシステムが出版物に関する (本棚に並べたりコンテンツをレンダリングしたりするための) 情報を収集するのに利用する。このファイルを作る最初のステップは、先ほどのコンテンツ制作のステップでまとめたおいたあらゆるリソースを、パッケージ文書のmanifestセクションの中にリストすることだ (ほぼすべてのリソー

2) http://www.idpf.org/epub/20/spec/OPS_2.0_1_draft.htm#Section1.4.1

3) EPUBの定義にPDFは入っていないことに注意しよう。

4) EPUBを作成する無料のソフトではSigilが有名だが、今のところEPUB 2.0には対応しているが、V3への対応は未定である。AdobeのInDesignをはじめとする有料のソフトはこの論文では対象外とする。

スはEPUBファイルの中に配置されるが、オーディオやビデオなどのリソースはウェブ上に置かれることもある)。リーディングシステムはこのリストによって、その出版物はリソースが全部揃っているのかと、どんなリモートファイルを取得する必要があるのかを理解する。出版物のあらゆるメタデータ(タイトルや著者など)もこのファイルに含まれており、一箇所にまとまっているため、流通機構やリーディングシステムはこれを容易に抽出して利用できる。また、デフォルトの読み順をspineセクション(コンテンツファイルを最初に表示するものから最後に表示するものまで順番に並べたリスト)に入れなければならない。そして最後に、どのリソースがナビゲーション文書(navigation document, 目次)であるのかを、パッケージ文書の中で識別できるようにしておく。

最後のステップは、コンテンツ文書と、それに関連するリソース、そしてパッケージ文書を単一のファイルにzip圧縮して、拡張子を配布用の.epubにすることだ。しかし、このプロセスは、標準的なzip圧縮のようにシングルなものではない。zipファイルの先頭にはmimetypeという専用ファイルを追加して、zipファイルの中身がEPUBであって他の何かではないことを示さなければならない。また、container.xmlというファイルを、META-INFという名前のディレクトリに入れて、リーディングシステムがパッケージ文書を探し出せるようにしなければならない

ない。』⁵⁾

この文章の中で、最初のコンテンツ文書(contents document)というのが電子書籍として読むときのテキスト部分となるページ記述である。テキスト部分の表示は正しい記法に従えば、誰でも電子書籍が書けるために、コンテンツ・マークアップ標準規格、オープン・パブリケーション構造(OPS)と名付けられている。第2のパッケージ文書(package document)は、テキストが正しい順序で何一つ欠けることがなく表示されるための手続き記述であり、包装標準規格(オープンパッケージングフォーマット=OPF)と呼ばれている。最後のステップが、以上のすべての内容を圧縮して単一のファイルにする手続きであり、コンテンツコンテナ規格(オープンコンテナフォーマット=OCF)と呼ばれるものである。つまり、正しい記法を守ってEPUBを作成するには次のようにすればいいのである。

1. コンテンツ文書(contents document)を作ること

コンテンツ文書はXHTML5文書かSVG画像のいずれか、または両者の混在したもの。リーディングシステム(RS)はレンダリング(あえてリーディングと言わない)のために(CSSスタイルシート、画像、など)さまざまなリソースを参照している。これらのリソースはすべて配布ファイルの中にまとめる必要がある。

2. パッケージ文書(package document)を作ること

リーディングシステムがEPUBを本棚に並べたりコンテンツをレンダリングしたりするための情報を収集するのに利用する。

5) 『EPUB 3とは何か?』Matt Garrish著, 高瀬拓史訳, O'Reilly Japan出版(EPUB版)

最初のステップ：manifestセクションの中にあらゆるリソースをリストする。

次のステップ：spineセクションの中に最初に表示するものから最後に表示するものまで順番に並べたリストを作る。

最後のステップ：どのリソースがナビゲーション文書 (navigation document, 一般的には目次のこと) であるのかを、パッケージ文書の中で識別できるようにする。

3. コンテンツ文書+リソース+パッケージ文書を単一のファイルにzip圧縮して、拡張子を配布用の.epubにすること。

zipファイルの先頭にmimetypeというファイルを追加し、またcontainer.xmlというファイルを、META-INFという名前のディレクトリに入れて、リーディングシステムがパッケージ文書を探し出せるようにする。

以上である。

3. EPUB 3 に至るまでの日本における電子出版の規格

3-1. 青空文庫⁶⁾

「青空文庫は、利用に対価を求めない、インターネット電子図書館です。著作権の消滅した作品と、『自由に読んでもらってかまわない』とされたものを、テキストとXHTML (一部は HTML) 形式でそろえています。」⁷⁾

著作権切れになった本は無料で読めるようにすべきだ、という青空文庫の呼びかけ人

6) <http://www.aozora.gr.jp/>

7) <http://www.aozora.gr.jp/guide/nyuumon.html>

8) 楽天がKoboを子会社化して 2012年7月に日本語書籍の発売開始したとき、苦し紛れに青空文庫を自社開発の書籍の点数に数えて贖贓を買ったことも記憶に新しい。ただし、程度の差こそあれ、青空文庫を自社の書籍のラインナップに当たり前のように加えているのはどこのプラットフォームでも同じことだ。

(実質的指導者) 富田倫生の活動とポリシーは共感を呼ぶ。入力も校正もボランティア、その脈々たる活動が今日の日本の良心的な電子書籍コンテンツの源泉になっている。⁸⁾ 青空文庫の歴史については、野口英司『インターネット図書館 青空文庫』⁹⁾ が詳しい。野口英司と宮川典子が内容の一部を「青空文庫ものがたり インターネット図書館の開設から今日まで」としてインターネットに公開している。¹⁰⁾ それと同時に、青空文庫の「本」としてダウンロードすることができるようになってきている。

2013年8月16日に亡くなった富田倫生の記念シンポジウムが9月25日に行われ、私も参加したが、その模様がニコニコ動画で公開されている。¹¹⁾ 実質的指導者を失って、青空文庫の今後の活動がどのようになるか見守って行きたい。

3-2. 青空文庫の記法

ボランティア組織であるとは言いながら、青空文庫は厳密な日本語縦書き組版の標準記法を作り上げてきた。青空文庫では、標準記法に従ったテキスト版を作った後、プログラムでこれをXHTMLに変換して端末で読む形式にする方法を取っている。¹²⁾ 文字はJIS X 0208でShift_JIS、改行コードはCR+LFを指定しているが、青空文庫はその組版のタグを公開しているため、だれでもこの記法に従えば縦組の電子書籍を作ることができる。¹³⁾

青空文庫の記法は日本語の組版としてEPUB 3でも有効であり、青空文庫の注記入りテキストファイルをaozoraEpub 3¹⁴⁾ という

9) はる書房、2005年 (http://www.harushobo.jp/2005_11_01.html)

10) http://www.aozora.gr.jp/cards/001739/files/55745_49422.html

11) <http://live.nicovideo.jp/watch/lv152947501>

12) <http://kumihan.aozora.gr.jp/slabid-19.htm>

13) <http://kumihan.aozora.gr.jp/>

14) <http://www18.atwiki.jp/hmdev/pages/21.html>

プログラムを使ってEPUB 3 ファイル (zip 圧縮) に変換することができる。Windows なら秀丸エディタ, MacならJeditなどを使って作った青空文庫txtのテキスト+画像ファイル(またはzip)をePub3変換することでEPUB 3フォーマットのファイルができあがる。¹⁵⁾

3-3. 電子書籍のフォーマット

オープンソースである青空文庫の記法以外の電子書籍のフォーマットとしては、シャープのXMDF (ever-eXtending Mobile Document Format) とポイジャーのドットブック (.book) が業界標準であった。XMDFはGARAPAGOSを始め、ソニー・KDDI・朝日新聞が出資したブックリスタやNTTドコモも採用して業界標準になりつつあるが、ドットブックもBookLive! やBooksVなどで採用され、電子書籍書店では2つのフォーマットが並立している状況である。こうした乱立状態ではEPUB 3を掲げた「黒船」を迎え撃つことはできないと考えた総務省を始め文科省・経産省は、「電子書籍交換フォーマット標準化プロジェクト」という委託事業を行ったほどである。総務省からは2011年3月23日付の報告書が出されている。¹⁶⁾

4. EPUB 3 とは何か

4-1. 縦書き仕様の実装

さて、2010年6月にIDPFのサイトにEPUB 2.01のドラフト規格が公開されたことにより、米国では電子書籍のフォーマットとして一挙にEPUBが普及した。しかし、EPUB 2.0の枠組みでは、日本語の本にとって必須と言え

る「縦組み」表示ができず、縦組みの行の中に通常2, 3文字の欧字や数字を、1文字分の高さで左横書きに配置する「縦中横」もできない。また、圈点を指定することができない。その他、割注や返り点も表示することができない。マクルーハンの言うように、「あらゆるメディアは誕生するとき、それ以前のメディアを模倣する」という原理を実現することができないようでは、電子書籍はメディアという肩書きを名乗るにはまだ力不足だと言われても仕方がない。かつてゲーテンベルクは中世に作られた見事な写本を印刷という手段で完全に再現模倣したように、印刷メディアをデジタル技術で完全に再現することが真に新しいメディアに求められているのである。

日本語電子書籍にとっての朗報は、日本電子出版協会 (<http://www.jepa.or.jp>) の村田真が日本語を国際標準フォーマットの進行の中で孤立させないために、台湾や香港の縦書きやアラビア語とヘブライ語にも対応させる戦略を立てて、EPUB3.0の国際化を完成させたことであろう。2011年10月10日にIDPFが "EPUB 3.0 Final Specification" を公開した。¹⁷⁾ 村上によれば、EPUB 3で縦書き導入が可能になった背景には、2009年6月「日本語組版処理の要件」(W3C)があったこと、彼がEPUB WGの中のEnhanced Global Language Support Sub-groupのコーディネータの地位を取れたこと、W3C CSS WGでEPUB縦書き対応を主体的にやる人たちが確保できたこと、Appleがwebkitでの実装を進めたことを挙げている。¹⁸⁾

4-2. Shift_JISからUnicodeへ

ところで、EPUB 3は、村田が主導してい

15) ただし、EPUB 3がUnicodeを文字コードにしているのに対して、青空文庫の表記法はShift-JSであるため、文字や記法の中には変換することはできないものもある。それについてはプリントアウトした上で、手入力に変更するほかない。

16) http://ebformat.jp/dl/koukan_format_houkouku_2011_05.pdf

17) EPUB 3 仕様書・関連文書<http://imagedrive.github.io/spec/index.xhtml>

18) <http://www.asahi-net.or.jp/~eb2m-mrt/epub/EPUBDigitalDocument201111.ppt?>

るRELAX NGというXMLとCSSとHTML5 (W3C) で構造化され、文字はUnicodeで実現するものである。電子書籍で使用可能な文字の数はUnicodeでは15393文字で、Shift_JISの約7000字の倍以上である。Shift_JISからUnicodeへの移行の必然性がそこにある。紙の書籍で表現できる文字数と比べるとはるかに少ないが、それでも電子書籍の決定的な弱点でなくなったのは大きな進歩である。(図1 参照)

EPUB 3 が主流になるということは、それまでShift_JISで実装してきた日本の電子書籍のフォーマットであるシャープのXMDFとボイジャーのドットブックも、新しい規格に適合させなければならないという問題を生じさせた。ボイジャーは「EPUB 3 メーカー」を提供することによってEPUB 3 への対応を表明せざるをえなくなったのである。

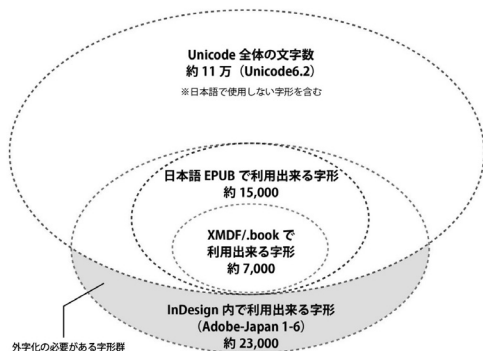


図1 処理文字数の違い¹⁹⁾

4-3. コンテンツ緊急電子化事業

ところで、EPUBのバージョンアップの間

19) 「電書魂」の著者田島順さんから提供された。感謝します。

20) <http://www.kindigi.jp/dlfiles/po20130603/jkindigititlelist.pdf>

21) コンテンツ緊急電子化事業特設サイトより転載。<http://www.kindigi.jp/> これは緊デジのWebページの掲げるタイトル申請数と達成状況であるが、fixとreflowというのは電子書籍のフォーマットで、fixはページが固定された、漫画のような本、reflowはフォントの変更でページが再記述されるテキスト主体の本である。

に、経済産業省は2012年度予算としてコンテンツ緊急電子化事業(緊デジ)を行なった。予算規模が補助金額(上限)約10億円、事業総額が約20億円、電子化書籍のアイテム数が約6万タイトルで、2013年3月31日に終了し、図2のように99.7%の達成率であると称している。

「電子書籍市場の拡大及びそれに伴う被災地域の知へのアクセスの向上に向けて、書籍の電子化作業に要する製作費用を国が補助します。」という謳い文句の後半部分は付け足して、震災復興予算の流用ではないかとかくの批判の対象になっている事業である。交換フォーマット標準化プロジェクトと同じように、これもKindleやiBooksといった日本政府による黒船対策の一環と言っていいだろう。しかも、補助金10億円をタイトルの目標数6万で割ると単純計算で16,666円にしかない。想像するに、1タイトルがこの数字では出版社、特に制作会社はほとんど持ち出さじやろう。実際、経産省の発表した緊デジ制作タイトル一覧²⁰⁾を見ると、コンテンツは玉石混交と言わざるを得ない。

- ・申請済タイトル数=参加出版社が電子化を希望したタイトル数の累計です。
- ・電子書籍制作ファイル数=緊デジで制作を開始した電子書籍ファイル数の累計です。
- ・補助金達成率=経産省からの補助金総額に対する利用額割合です。

タイトル申請数と達成状況(最終確定値) 2013年3月31日現在						
申請済タイトル数(フォーマット別)			電子書籍制作ファイル数			補助金達成率
fix	reflow	合計	fix	reflow	合計	
48,459	16,374	64,833	59,541	21,352	80,893	99.7%

図2 最終確定したタイトル申請数と達成状況²¹⁾

緊デジの補助対象は出版社、印刷会社、電子書籍制作会社であり、電子出版を目指す個人ではない。すでに述べたように、経済産業省をはじめ政府の補助金は米国による日本の

商習慣の破壊を阻止するためのいわば軍資金だからである。緊デジの最終段階ではEPUB 3への対応のために「緊デジ版EPUB 3 テンプレート」を提供している。

5. 個人出版の可能性

5-1. 紙の出版から電子出版へ

さて、日本では、印刷による出版は再販制度に守られた日販・トーハンの出版販売会社による独占的な流通に阻まれて、個人が新規参入して一般書店の店頭で本を並べることがほぼ不可能である。²²⁾ 紙の出版をあきらめて電子書籍の出版を目指すなら、AmazonのKindleで読むためのKindle Direct Publishing (KDP) を利用するのが一番手取り早い。KDPは**著者→出版社→印刷会社→取次→書店→消費者**という流れを、**著者→Amazon→消費者**という最短距離に変えるパラダイムシフトである。私たちは再販制度に守られたこれまでの商習慣を無視して著者になることができる道が開かれたのである。Kindleが黒船であるのは、印刷から電子出版というメディアの転換だけの問題でなく、日本の出版界の商習慣を完全に覆すからである。

5-2. Kindle Direct Publishing

KDPの仕組みは、個人がKindleフォーマットで電子書籍を作れば、AmazonのKindleプラットフォームで世界中の消費者に販売し、販売価格の最大70%（実際は35%）が出版者に支払われるというものである。²³⁾ この仕組みは実に簡潔なもので、難しい手続きは全くない。もちろん外国（特に米国市場）で販売する場合は納税者識別番号を取得しなければな

らないが、日本だけを市場とする場合は至って簡単である。KDPの場合、紙の出版物に必須のISDN番号を付ける必要もないのだ。

実は、私は2010年に出版社登録をすませ印刷本を出している。一般書店での店頭販売ではなくAmazonのみで販売を始めたのである。きっかけは吉本隆明さんと私の共著の本が絶版になっていたため、これを復刻したいという思いがあったためである。電子出版はその延長線上にある。電子出版の仕組みはKDPだけではない。AppleのiBooksもカナダのKoboも同じような仕組みでできている。いずれも外国の流通だけでも。

5-3. InDesignによる電子書籍制作法の挫折

しかし、事態は簡単ではない。電子書籍をどうやって制作するかは技術的な問題が残っている。紙の出版を電子化する既存の出版社の場合は、従来の力関係を使って（本来は印刷会社に所有権がある）印刷会社が持っている紙媒体のためのInDesignファイルの書き出しプラグインを使えば比較的簡単に電子出版にたどり着くだろう。いや、実情はそれほど簡単にはいかないようだが。個人出版者が紙の本のための装丁をInDesignでわざわざ作ってから電子化するというのはいかにも無駄な手間だろう。私も2013年の8、9月の2ヶ月間、InDesignと格闘したが、このアプリケーションの習得には至らず、結局InDesignで電子書籍を作ることはあきらめざるを得なかった。

5-4. Pagesでフランス語の本を電子書籍で出版する

さて、今回の私の最初の電子書籍は1984年から翻訳を開始し、1989年に完訳終了した吉本隆明『共同幻想論』のフランス語訳である。かつて1997年にボイジャー社のエクスパンド

22) 日本の出版事情を知るには佃/由美子『日本でいちばん小さな出版社』晶文社、2007年が詳しい。

23) <https://kdp.amazon.co.jp/self-publishing/signin>

ブックとしてCD-ROMで出版されたものだが、すでに絶版になって時間が立っている上に、今回、外部からの強い要望に請われてKDPで出版することにしたのである。

1997年時点で翻訳の全文と注釈はWordファイルとして保存してあった。エクスパンドブックとして出版する際にすでに校正は済ませていたが、古いテキストファイルをWordで読み込むと、同じMacでもOSの世代間格差があるためか、文字化けがおこっていた。そのため、Googleドライブで読み込んで、フランス語のスペルチェックにかけ、日本語もプリントアウトして誤植の校正を行った。そのファイルをWordに書き出した後、AppleのアプリケーションであるPagesに読み込んだ。PagesはEPUB 2 にしか対応していないが、フランス語の電子書籍の制作にはEPUB 3 にする必要がないため、Pagesで整形した後、アプリケーションのメニューからepub書き出しを行った。そのファイルをKindleのKDPのサイトにログインしてアップロードするとKindleGenで変換してくれ、Kindle Pre-

viewerで本をプレビューすることができる。²⁴⁾ こうして、2013年6月21日、KDPでは全く問題なくこのファイルは電子本として出版することができた。(図3参照)

この実例からして英語やフランス語のような欧米の言語ならPagesが便利だと言える。²⁵⁾

5-5. 日本語縦書き本の制作方法

「フランス語版共同幻想論」はアプリケーションを使って電子書籍として出版にこぎ着けたが、日本語の縦書き本の制作はなかなか決定的な方法にたどり着かなかった。WordやGoogleドライブのようなワープロで作ったファイルをいきなりKDPにアップロードしてしまう方法もあるが、それではそもそもEPUBがどのような構造でできているか無知なままであり、エラーがおこったときの対処法がわからないままである。

2013年の数ヶ月、試行錯誤を繰り返して、図4のように2013年9月、縦書きの日本語電子書籍「追悼吉本隆明 ミシェル・フーコーと『共同幻想論』」のKindle版をようやく出

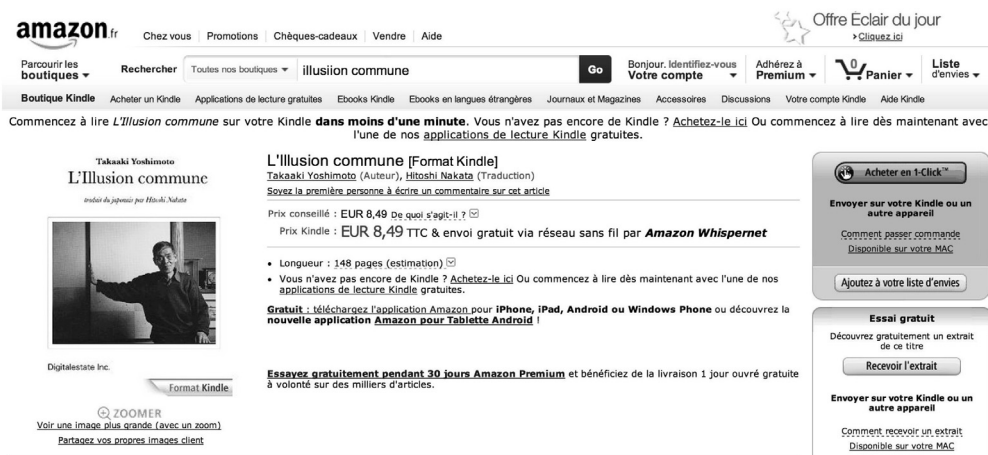


図3 Amazon Franceで出版された *L'illusion commune* (フランス語版『共同幻想論』)

24) KindleGenは、EPUB 3 などのファイル形式からAmazon独自のKF8形式ファイルに変換する無料のコンバータソフトで、Windows/Mac/Linux版が用意されている。Kindle PreviewerはEPUB入力機能付きのKF8画面表示エミュレータで、Windows/Mac版のみ。

25) 同じ方法でKoboでも出版することができた。ただ、本家本元のAppleのiBooksでは未だに成功していない。それが不思議なことである。

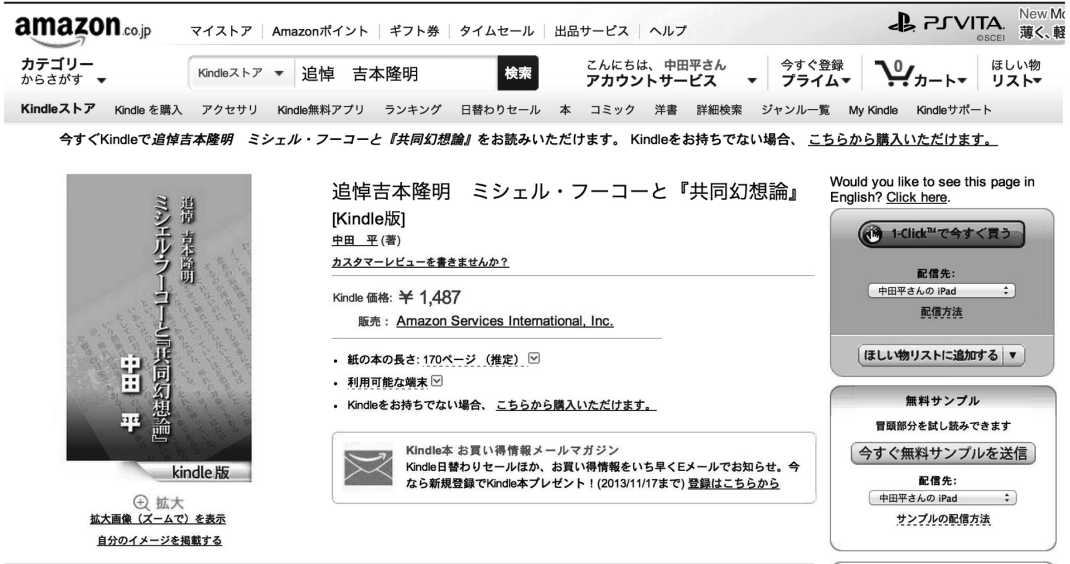


図4 Amazonで出版された追悼吉本隆明 ミシェル・フーコーと『共同幻想論』Kindle版

版することに成功した。この電子本の制作過程でたどり着いた日本語電子書籍の制作方法を紹介して、これから電子書籍を作る人たちへの参考に供したい。

5-6. EPUB制作環境 ハードウェア環境

EPUB3制作プラットフォームは主としてMacBook Pro Retina, 13 inch with MacOS X 10.8.4であったが、OSは10.9にアップデートしている。また、MacPro, MacBookなども併用している。場合によっては

iPadやiPhoneでも原稿を書くことがある。本稿はMacOS Xの環境による電子書籍制作についてのみ論じるもので、Windowsについてはまったく考慮していないことを断っておく。

5-7. 原稿の執筆

WordでもGoogle DriveでもLibreOfficeでも、自分が書き慣れているものならどんなワープロでも構わない。ちなみに、私は書くものによってワープロを変えている。フラン



図5 MacBook Pro Retina, 13 inch with MacOS X 10.8.4

ス語のものは元々Wordで書いていた。(かつて、カナダのフランス語文法チェックソフトLe Correcteur で文法チェックしながら書いていたが、現在ではこのソフトは開発が止まっていて使えない状態にあるのが残念だ。)日本語はWordで書いたり、Google Driveで書いたり、単なるエディター (JEditやmi) で書いたり、気分によって変えている。

最終的にはフラットなtextとしてmiに読み込むので、なるべく特別なタグなどがない方が良い。

5-8. 記法とテンプレート

原稿が出来上がったら、電子書籍の記法に従って制作することになるが、現在のところもっとも頼みになるのは「電書協EPUB 3制作ガイド ver.1.1.2」一式である。²⁶⁾ 先にも述べたように、ワープロで原稿を書いて後はKindleGenにお任せでは記法の原理がわからないままでエラーチェックもできない。面倒でも自分で記法に従って自作するのが最善の方法である。「電書協EPUB 3制作ガイド ver.1.1.2」は、日本電子書籍出版社協会 (EBPAJ) が作ったガイドで、EPUB 3の日本語ガイドとしてはもっとも依るべきものである。面白いことに、このガイドはEPUBファイルではなく、PDFである。マニュアル類の取り扱いの利便さはまだPDFに一日の長がある。

それはともかく、電書協EPUB 3制作ガイド ver.1.1.2には次の3つのテンプレートが同梱されているので、このテンプレートをもとに制作するのが早道だ。

book-template.epub
ebpag-sample.epub
fixedlayout-template.epub

26) <http://ebpaj.jp/guide.html>

必要に応じてこのテンプレートを利用して電子書籍を作るとよい。



図6 電書協EPUB 3制作ガイド ver.1.1.2のzipファイルの内容

では、次にEPUB作成の現実的手順を、ここでは私が作った「追悼吉本隆明 ミシェル・フーコーと『共同幻想論』」のKindle版を实例として詳述する。

1. 文書ファイルを作る

電書協EPUB 3制作ガイドでは、文書ファイルの基本と名付けられた項目に記述されている。Kindle, iPad, Koboなどのリーディングシステムはレンダリングのために、CSSスタイルシート、画像、などさまざまなリソースを参照している。これらのリソースはすべて配布ファイルの中にまとめる必要がある。電書協EPUB 3制作ガイド ver.1.1.2に従って説明する。

図7の示すように、「追悼吉本隆明 ミシェル・フーコーと『共同幻想論』」は序および4章構成であるが、それはp-001.xhtmlからp-005.xhtmlで記述される。改ページがそのまま章を意味する。xhtmlと名付けられたフォルダには本文を構成するすべてのファイルが格納されている。

表紙がp-cover.xhtml, 目次がp-toc.xhtml, 書名がp-title. xhtml, 後注が p-footnotes. Xhtml, 後書きがp-postscript.xhtml, 奥付がp-colophon. xhtml, となっている。電子

書籍では註は脚注ではなく、必ず後注になる。これは脚注にしなくても、註記号をクリックすれば目的の註にジャンプするハイパーテキストの利点である。

「ページ進行方向の遵守

コンテンツ文書やスタイルシートに記された「-epub-writing-mode」の指定にかかわらず、書籍データの「ページ進行方向」は、パッケージ文書の spine 要素に記された「page-progression-direction」の方向に従う。XHTML ファイル内容の進行方向は、各XHTML ファイルの body 要素に指定された「-epub-writing-mode」に従う。

html 要素に指定された「-epub-writing-mode」は、適切に body 要素に継承されるものとする。

たとえば「page-progression-direction」が「rtl (右から左)」で、XHTML の「-epub-writing-mode」が「horizontal-tb (横組み)」の場合、テキストは画面内で「左から右へ」伸びるように表示されるが、新たなページは「右から左へ」と増えていくことが望まれる。

spine 要素における指定の遵守

spine 要素での指定順を正しく反映するものとする。itemref 要素における「linear」属性の「yes」「no」指定を反映するものとする。「linear」属性が「yes」のときは、たとえカバーページであれ、勝手に非表示としない。

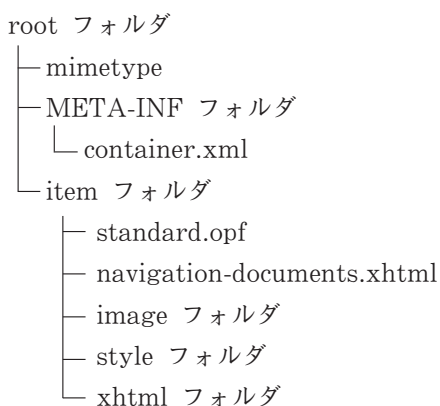
itemref 要素における「properties」属性の「page-spread-right」「page-spread-left」指定を反映するものとする。

spine 要素に記載がないものは、書籍のページとして表示されないものとする。²⁷⁾

2. パッケージ文書 (Package Document / OPF ファイル) を作る

次はパッケージ文書の作成である。リーディングシステムがEPUBを本棚に並べたりコンテンツをレンダリングしたりするための情報を収集するのに利用する。

「■基本的なフォルダ構成とファイル名



- root フォルダ名は版元の指示に従って設定
- ファイル・フォルダ名は原則小文字 (META-INF および管理コードなど指示のあるものは除く)

- 素材格納フォルダの名前は、パッケージ文書での<item>要素にあわせ「item」とする (仕様上は任意)

- 素材はすべて item フォルダ内の指定のフォルダに入れ、他のフォルダやサブフォルダを作らない

画像ファイル : 「image」フォルダ

CSS ファイル : 「style」フォルダ

xhtml ファイル : 「xhtml」フォルダ

- 以下のファイルは改変しない (添付のサンプル同梱のものをそのまま利用)

root フォルダ直下にある「mimetype」

「META-INF」フォルダ内の「container.xml」

27) 電書協EPUB3制作ガイド ver.1.1.2, 7-8頁

- 最低限、どの作品にも共通するページと本文部分とで、XHTML 文書のファイル名を分離しておくことを推奨。

※注意書き等の差し替え時におけるファイル判別の手間軽減、
画像や解説などの追加・削除によるリンク指定の URL 変更回避といった管理面での事情に配慮」²⁸⁾



図 7 バッケージドキュメントの記述例「追悼 吉本隆明 ミシェル・フーコーと『共同幻想論』」

styleと名付けられたフォルダには電子書籍をレンダリングするために参照されるcssファイルが格納される。cssファイルはテンプレートをそのまま利用すればよいが、特殊なcssに関しては別のファイルを準備するか、またはbook-style.cssファイルに追記してもかまわない。imageフォルダにはこの電子本に入れる画像ファイルを入れる。これで文書を電子書籍として読むための本文の記述が完成する。

28) 電書協EPUB 3 制作ガイド ver.1.1.2, 22頁。

29) <http://readium.org/>

3. すべてのファイルを単一のファイルにzip圧縮して、拡張子を配布用の.epubにする

最後はこのすべてのファイル群を1つのフォルダに入れてzip圧縮する。できたzipファイルの拡張子を.epubに変更すれば、完成である。

6. 電子出版のための様々なツールと活用法

6-1 ブラウザChrome+Radium

今のところ、ブラウザ上で.epubのファイルを読むことができるのはGoogle Chromeだけである。ChromeはRadium.orgの開発したEPUB 3 準拠のブラウザによるリーディングシステムに対応している唯一のWebブラウザであり、一般的なEPUBの検証用に使うことができる。

出来上がったEPUB作品はRadiumアプリケーションに読み込んですぐに検証用に使用することができる。

Radium.org: Open Source Technology for EPUB 3 and the Open Web Platform

The Radium Foundation (Radium.org) develops technology to accelerate adoption of EPUB 3 and the Open Web Platform by the global digital publishing industry. Radium.org was formed in February, 2013 as a non-profit membership organization. Current Radium.org projects include Radium Web (an EPUB 3 rendering engine for browser-based cloud readers) and Radium SDK (an EPUB 3 rendering engine for native apps).²⁹⁾

Radium.orgとは、EPUB 3 およびオープンWebプラットフォームのためのオープ

ンソーステクノロジーです。

Readium財団 (Readium.org) は、グローバルなデジタル出版業界によるEPUB 3の採用とオープンWebプラットフォームを加速するための技術を開発しています。Readium.orgは非営利の会員組織として2013年2月に結成されました。現在のReadium.orgプロジェクトには、Readiumウェブ (ブラウザベースのクラウド読者のためのEPUB 3レンダリングエンジン) とReadium SDK (ネイティブアプリケーションのためのEPUB 3のレンダリングエンジン) が含まれています。(日本語訳)



図8 インストールしたReadiumの表示画面

図8はReadiumがHTML5とePUBとidpfを推奨するアプリケーションであることが示されている。

図9が示すように、ReadiumはChromeにインストールされると本を追加することができる。URLの指定によって.epubのファイルをダウンロードしたり、ローカルファイルを読み込んだり、まだzip圧縮する前のepubフォルダを選択して検証用に使うこともできる。

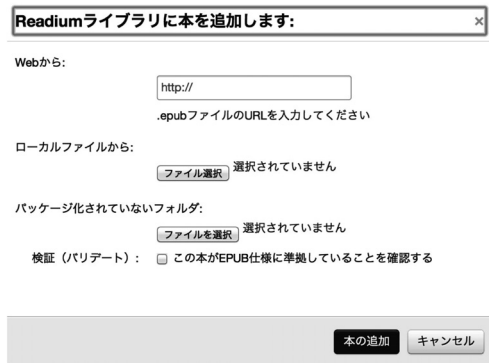
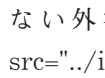


図9 Readiumライブラリにepubファイルを読み込む画面

図10は電書協 (日本電子書籍出版協会) が提供する3つのテンプレートのうち、ebpag-sample.epubというサンプル画面の表示である。ここでは芥川龍之介の『蜘蛛の糸』を事例にしてEPUB 3の記法に従った表示を事例として示している。「ある日のことでございます。」で始まり、「なのでございましょう。」で終わるxhtmlファイルのタグは以下の通りである。

```
<p> ある日のことでございます。
<span class="em-line"> お <ruby> 積
<rt> し や </rt><rt>か</rt>様<rt>さま</rt></r
uby>は</span><span class="line-through"> 極楽の </span><ruby> 蓮 <rt> は
す </rt>池 <rt> いけ </rt></ruby>のふ
ちを、ひとりで<span class="super">ぶ
ら </span><span class="sub">ぶら </s
pan>お歩きに<span class="em-line-ou
tside">な <span class="kogaki">つ </sp
an>ていらっしやいました </span>。
<span class="italic">池の中 <span clas
s="font-style-normal">に </span>咲い
ている <ruby> 蓮の花 <rt> Lotus Flower
```

は、みんな玉のようままっ白で、そのまん中にある金色の蕊つぼみ（→[参照](#)）からは、なんとも言えないよいにおいが、絶間なくあたりへあふれております。極楽はちょうど朝あさ * 註#02 かなのでございましょう。

ここには様々なタグが書かれているが、例えば「釈迦」の「迦」の字はutf8で表示できない外字の例としてかかのように画像として埋め込んでいる。その他、「ぶらぶら」のような上付文字と下付文字の表示例が提供してある。このように、xhtmlファイルは本文をタグで囲んだテキストとして整形するものである。

ある日のことでございます。お釈迦様は極楽蓮池ごつくだいのふちを、ひとりでお歩きになつていらつしやしませんか。池の中に咲いてゐる蓮の花つぼみは、みんな玉のようままっ白で、そのまん中にある金色の蕊つぼみ（→[参照](#)）からは、なんとも言えないよいにおいが、絶間なくあたりへあふれております。極楽はちょうど朝あさ * 註#02 かなのでございましょう。

やがてお釈迦様はその池のふちにおたずみになつて、水の面をおおつてゐる蓮の葉の間から、ふと下のようすをご覧になりました。この極楽の蓮池の下は、ちょうど池の底に当つておりますから、水晶すいしょうのような水を透すと、三途さんずの河や針はりの山のけしきが、ちょうどどのぞきめがねを見るように、見えておりました。

するとその地獄の底に、健陀多けんたたと言ふ男が一人、ほかの罪人といつしよにうごめてゐる姿が、お眼に止まりました。この健陀多と言ふ男は、火を殺したり火をつけたたり、いろいろ悪事を働いたかゝるほうでございますが、それでもたつた一つ、よいことをしたた覚え

6-2. テキストエディタ「mi」用「電書協EPUB用XHTML」モード

次はxhtmlのファイルを書くためのエディタであるが、上山大輔が作ったmi というMacOS X用のフリーウエアのエディタは秀逸である。私はこのエディタに田島順が作った電書協EPUB用XHTMLモードをつけて利用している。田島順は電書協EPUB用XHTMLモードについて次のように書いている。

緊デジで採用されている電書協EPUB3制作ガイドはあらかじめ必要と思われるプロパティ要素をほぼ全てCSSでclass名として規定しておき、それを選択するだけで基本的なEPUB 3の制作ができるように考えられたフレームワークですが、これは使用者の側が規定されたclass名を記憶しておかなければならないことを意味します。正直電書協EPUB 3制作ガイドの膨大なプロパティ要素を全て記憶しておくことは至難の業で、緊デジでのEPUB 3制作では結局毎回CSSを開いて既定されている値を検索する必要がありました。

これでは時間もかかる上に、電書協EPUB 3制作ガイドの規定プロパティを活かしきることはできません。

そこで、Mac用テキストエディタ「mi」（旧名ミミカキエディット）の「モード」機能を利用し、デフォルトで選択できる「HTML」モードをもとに電書協EPUB3制作ガイド（緊デジリフローテンプレート）で規定された全てのプロパティ要素をメニューからのドロップダウン選択だけで入力できる「電書協EPUB用XHTML」モードを作ってみました。

また、特に修正に多大な労力を要する

図10 電書協のテンプレートをReadiumに読み込んだときの表示例

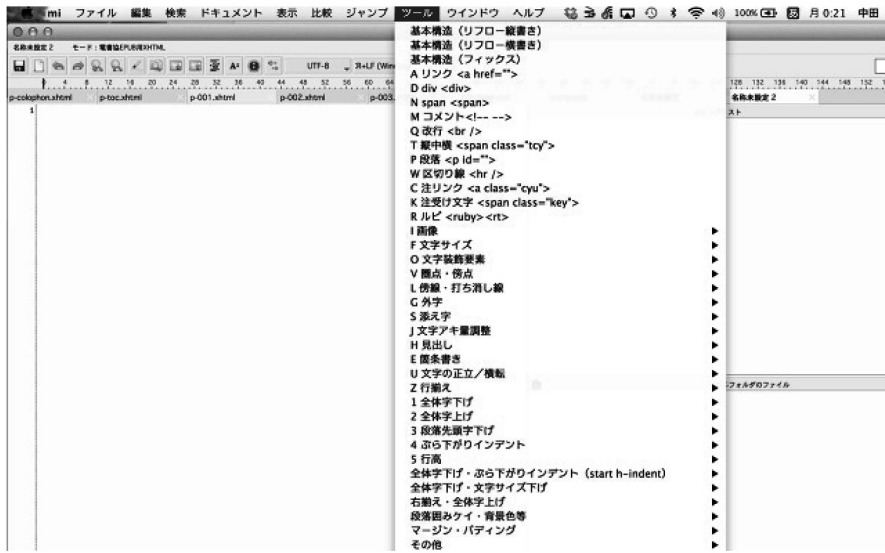


図11 電書協EPUB用XHTMLモードをつけたmiの操作画面

「ルビ」の修正につきましては、イースト株式会社の高瀬拓史 (@lost_and_found) さん作の「でんでんコンバーター」のマークダウン記法、「でんでんマークダウン」のルビ記法とXHTMLのルビタグを相互に変換できる機能を収録し、可読性の高い、容易なルビ修正を実現しました。

さらに、縦組み時に正立・横転の指定が必要な記号類への自動タグ付加や、3桁までの半角数字への縦中横タグ自動付加、選択した段落への<p>~</p>タグの自動付加、HTMLコメントの一括消去などもスクリプト化して収録しました。MacでのEPUB制作のおともにお役立ていただければ嬉しいです。³⁰⁾

こうした上山大輔や田島順や高瀬拓史などの無償の貢献がEPUBに限らずデジタル世界

に大きな可能性をもたらしてくれることに感謝しよう。

6-3. 電子書籍のZIPとUNZIPのためのePub Zip/Unzip 2.0.1

電子書籍 (.epub) ファイルは実はxmlとxhtmlなどのファイル群のzip圧縮ファイルである。zip圧縮のソフトはたくさんあるが、epub用に特化されたapplescriptで書かれたアプリケーションがある。それがePub Zip/Unzip 2.0.1³¹⁾である。

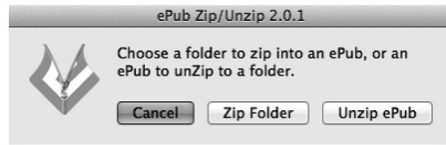


図12 ePub Zip/Unzip 2.0.1

ePub Zip/Unzip 2.0.1はパッケージドキュメントをzip圧縮して、そのファイルの拡張子を.epubに自動生成する。また、その反対に、電書協EPUB 3制作ガイド ver.1.1.2の.epubファイルをunzipしてパッケージ文書に

30) <http://densyodamasii.com/?p=1973>

31) <https://code.google.com/p/epub-applescripts/downloads/detail?name=ePub%20Zip%20Unzip%202.0.1.app.zip&can=2&q=>

展開してくれる。電書協EPUB 3 制作ガイドをテンプレートとして利用するにはこの手続きが不可欠である。こうして展開したxhtmlファイル群をそれぞれmiで開いて内容をチェックするわけである。

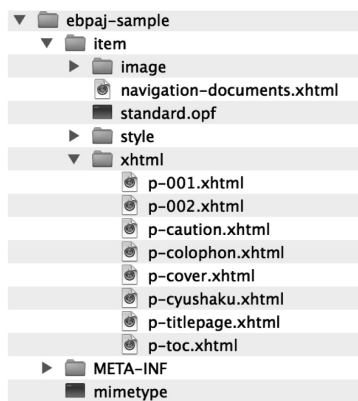


図13 ebpaj-sampleというepubファイルをunzipしたところ

6-4. ePubリーダーとしてのiPad

現在までのところ、iPadはiBooks用のEPUBリーダーとしてだけでなく、スマートデバイスによるEPUBデータ検証用として最適である。iBooks, Kindle, Kobo, Kinoppy, BookLive!などのアプリでダウンロードした電子書籍を読むことができるからである。

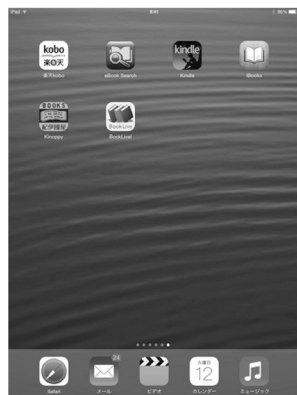


図14 iPadにダウンロードした電子書籍リーダーのアプリ
Kobo, Kindle, iBooks, Kinoppy, BookLive!

ChromeのReadiumも読めることは読めるが、例えば注のタグが正しく書かれていてもジャンプしないなどのバグ(?)があったりして、シミュレーターとしての信頼性においていささか難がある。その点、iPadアプリは各社が最適化の努力をしているため、シミュレーターとしての信頼が高い。

6-5. ePubのテキスト校正用エディターとしてのMurasaki

当り前のことだが、電子書籍と言えども校正作業が不可欠である。「5-7. 原稿の執筆」で書いたように、最初の原稿はどんなワープロソフトでも、エディターでも構わない。初校はその環境で行うだろう。しかし、一旦epubの形式に構成し終わったファイルで本文だけを校正の対象にすることは難しい。xhtmlで書かれたテキストはタグの塊であるため、本文を抽出して校正することは不可能ではないにしても間違いのもとである。そこで利用するのがMurasaki³²⁾ (The Scroll-based EPUB Reader for OS X) という秀逸なフリーソフトである。「Murasakiはシンプルなユーザインターフェイスと豊富な機能を持った、OS X用のEPUB閲覧アプリケーションです (DRMで保護されたEPUBは開けません)。」という作者の注意書きにあるように、著作権保護 (Digital Rights Management) のためにunzipできない仕様の電子書籍は対象外となる。Kindleでは出版するときにDRM保護をするかしないか選択することができるが、自分の出版物であってもDRM保護をすると解凍することができなくなることは言うまでもない。

電子書籍小説でベストセラーとなった

32) <http://genjiapp.com/mac/murasaki/>

33) <http://genemapper.info/>



図15 スクロールベースのePubリーダーMurasakiのトップページ

「Gene Mapper」³³⁾の著者藤井太陽は私が主催した講演会で「校正は縦ではなく、横でやること」と言ったが、それは原稿の校正はパソコンの画面ではなく、紙にプリントアウトしてやるべきだということである。従来、出版社の編集係が校正刷りに赤ペンで校正をしているように、できれば著者とは別の第三者が校正刷りで誤字や誤植をチェックする方がいいという経験則を述べたものだ。電子書籍でもそれは同じことだろう。電子書籍は形態がデジタルファイルというだけで、元はテキストだからだ。マクルーハンの「すべてのメディアの内容は以前のメディアである」というテーゼは電子書籍にも当てはまる。電子書籍の内容は印刷本であるからだ。校正をするときに、我々は出版社や印刷所に送った原稿に戻ってすることはない。必ず校正刷りで初校・二校・三校と校正を繰り返す。その点でMurasakiは校正刷りのシミュレーターとして非常に有用である。

6-6. 電子データの保存先としてのDropbox

この稿を閉じるにあたって、最後にDropboxのことを書いておこう。Dropboxはオンラインストレージサービスであり、パソコンだけでなく、iPadやiPhoneなどとも同期するこ

とができ、オンラインのまま読み書きの操作ができるきわめて便利なサービスである。私はこの原稿をWordで書いているが、ファイルはDropboxにおいたままで加筆や訂正を繰り返し、日々更新している。Googleドライブも同様のことが可能だが、Dropboxの軽快さや安定性は比較にならない。DropboxはEPUBデータの保存場所としてだけでなく、EPUBデータ・ダウンロードのため、例えばiPadやiPhoneなどにEPUBファイルをダウンロードして読むことができる。

結論

この原稿の執筆時点ではEPUB 3によってようやく日本語による電子書籍が安定的に供給できる環境が整備されてきた。今後、Kno³⁴⁾のようなPDFリーダーやiPad (iPhone) アプリによる独自の電子書籍の動向も気になるところだ。

金城学院大学を定年退職する最後の年にEPUBについての小論を書いているが、まだまだこれから勉強を続けていく路程の1地点として勉強してきたささやかな研究成果をこのような形で残すのも面白いかもしれない。

34) <http://www.kno.com/>

中 田 平

略歴

1946年1月22日 石川県金沢市に生まれる

学歴

1970年3月 愛知県立大学外国語学部フランス学科卒業

1972年3月 名古屋大学大学院文学研究科哲学専攻修士課程修了(文学修士)

1975年3月 南山大学大学院文学研究科仏文学専攻博士課程単位取得満期退学

職歴 (兼任講師は省略)

1975年4月 金城学院大学文学部専任講師 (フランス語)

1978年4月 金城学院大学文学部助教授 (フランス語, 文学)

1985年4月 金城学院大学文学部教授 (フランス語, 英語教育工学, 情報科学)

1994年4月 金城学院大学マルチメディアセンター長

1997年4月 金城学院大学現代文化学部教授 (情報科学, メディア論, マルチメディア表現及び技術, 3D表現技術, 情報文化演習)

2005年4月 金城学院大学マルチメディアセンター長

2007年4月 金城学院大学大学院文学研究教授併任 (社会学演習, 社会学特殊講義)

社会的活動

(短期の委嘱委員などは省略する)

1996年4月 情報文化学会常任理事 (2004年3月まで)

2001年6月 東海インターネットワーク協議会理事長 (2002年6月まで)

2002年6月 特定非営利活動法人東海インターネット協議会理事長

2002年10月 金城学院大学生協同組合理事長 (2013年5月まで)

賞罰

1990年4月 雑誌「MACLIFE」5月号 (平成2年4月18日発売) 第2回日本語ハイパーカードスタックウエア・コンテスト (アップルコンピュータジャパン主催・MACLIFE協賛) にて, 「ハイパーフランス革命」で応募, グランプリを受賞

1995年11月 「バーチャル明治村」にて, 第3回情報文化学会賞受賞

研究業績

(著書)

- 1 『Allons-y!—フランスのことばと文化—』 共著1986年6月 (株) ユニテ
- 2 『ハイパー科学館』 CD-ROM版 単著 1993年1月 (株) コンピュータウェーブ
- 3 『フランス文化のこころ—その言語と文学—』 吉本隆明「共同幻想論」フランス語訳をめ

- ぐってー」共著 1993年2月 駿河台出版社
- 4 『MacBASIC (マックベーシック)』(3.5インチ2DDFD) 共著 1993年5月 ブラザー販売株式会社
 - 5 『電脳外国語大学』「フランス語にみる電子出版の未来」共著 1993年11月 技術評論社
 - 6 『HyperCard Lessons (ハイパーカードレッスン)』(CD-ROM) 単著 1994年4月 ブラザー販売株式会社
 - 7 『Allons-y!』(新版) 単著 1995年5月 (株) ユニテ (前著「Allons-y!ーフランスのことばと文化ー」の改訂新版)
 - 8 『Digital Allons-y!』(デジタルアロンジー)』(CD-ROM) 単著 1995年5月 (株) ユニテ
 - 9 丸木恵祐編『現代の社会と人間関係』「マルチメディア時代の人間関係」共著 1996年3月 東京法令出版
 - 10 『吉本隆明『共同幻想論』を語る』(CD-ROM) 編著 1996年6月 (株) 光文堂 (エキスパンドによる電子ブック出版。1. 「共同幻想論」の著書吉本隆明のインタビュー「吉本隆明「共同幻想論」を語る」, 2. 「共同幻想論」オリジナル日本語版, 3. 「共同幻想論」のフランス語訳L'illusionCommune 4. 吉本隆明「共同幻想論」解題)
 - 11 『パソコンでフランス語, Ouf!』共著 1997年4月 駿河台出版社
 - 12 吉本隆明・中田平「ミシェル・フーコーと『共同幻想論』」共著 1999年11月 丸山学芸図書 (ミシェル・フーコーの『言葉と物』と吉本隆明『共同幻想論』の親近性を解明することにより, メディアの概念を基礎づける一種の系譜学を構想した)
 - 13 『デジタル維新のサムライたち』編著 2000年11月光芒社
 - 14 『マクルーハンの贈り物』単著 2003年8月 海文堂
 - 15 清田義昭編『新聞・雑誌・出版』(叢書現代のメディアとジャーナリズム5)「マーシャル・マクルーハンが予見したこと」共著 2005年11月 ミネルヴァ書房
 - 16 『マクルーハンの贈り物』2訂版 単著 2006年8月 海文堂 (「マクルーハンの贈り物」に最新情報を盛り込み, 記述に手を入れた改訂版)
 - 17 『Moodle入門』共著 2006年9月 海文堂
 - 18 『Google Appsの教科書』共著 2010年3月 海文堂
 - 19 『追悼吉本隆明 ミシェル・フーコーと『共同幻想論』』単著 2012年8月 デジタルエステイト株式会社 (『ミシェル・フーコーと『共同幻想論』』として吉本隆明と共著で出版した同書の復刻再販)
 - 20 L'illusion commune (French Edition) [Kindle Edition] 単著 2013年6月 Digital Estate Inc. (吉本隆明『共同幻想論』のフランス語訳の電子書籍[Kindle版])
 - 21 『追悼吉本隆明 ミシェル・フーコーと『共同幻想論』』電子書籍[Kindle版] 単著 2013年9月 デジタルエステイト株式会社 (追悼吉本隆明 ミシェル・フーコーと『共同幻想論』の電子書籍[Kindle版])

(学術論文)

- 1 「Stephane Mallarmeの実存的精神分析—《Mallarme1842—1898》注解—」単著 1976年12月 金城学院大学論集 人文科学篇 第9号
- 2 「Sartre思春期考—1917—1929—」単著1977年12月 金城学院大学論集 人文科学篇 第10号
- 3 「もう一つの「負けるが勝ち」Jean RotrouのLe Veritable SaintGenest—その構造と意味」単著 1979年1月 金城学院大学論集 人文科学篇 第12号
- 4 「メロドラマからサイコドラマへ—デュマの「キーン」とサルトルの「キーン」—」単著 1980年3月 金城学院大学論集 人文科学篇 第13号
- 5 ボーヴォワールとその時代
- 5-1 「ボーヴォワールとその時代(1)」単著 1981年2月 金城学院大学論集 人文科学篇 第14号
- 5-2 「ボーヴォワールとその時代(2)」単著 1982年2月 金城学院大学論集 人文科学篇 第15号
- 6 「アレクサンドル・デュマの「アンリ三世とその宮廷」の初演」単著 1984年3月 金城学院大学論集 人文科学篇 第17号
- 7 「Alexandre Dumasの現代劇《Antony》の上演に至るまで」単著 1987年3月千葉大学フランス文化研究第103号
- 8 「Alexandre Dumasの《La Tour de Nesle》を巡って」単著 1987年3月 金城学院大学論集 人文科学篇 第20号
- 9 「Alexandre Dumasの喜劇《Mademoiselle de Belle-Isle》について」単著 1988年3月 金城学院大学論集人文科学篇第22号
- 10 Takaaki Yoshimoto, L'illusion commune, traduit du japonais (フランス語) 吉本隆明「共同幻想論」のフランス語への翻訳。吉本隆明の批評家生活と「共同幻想論」の位置づけについての解説つき)
- 10-1 「Takaaki Yoshimoto L'illusion commune, traduit du japonais (1)」単著 1989年3月 金城学院大学論集 人文科学篇第22号(その1)
- 10-2 「Takaaki Yoshimoto L'illusion commune, traduit du japonais (2)」単著 1990年3月 金城学院大学論集 人文科学篇第23号(その2)
- 10-3 「Takaaki Yoshimoto L'illusion commune, traduit du japonais (3)」単著 1991年3月 金城学院大学論集 人文科学篇第24号(その3)
- 10-4 「Takaaki Yoshimoto L'illusion commune, traduit du japonais (4)」単著 1992年3月 金城学院大学論集 人文科学篇第25号(その4)
- 10-5 「Takaaki Yoshimoto L'illusion commune, traduit du japonais (5)」単著 1993

年3月

城学院大学論集 人文科学篇第26号（その5）

- 11 「ハイパー科学館CD-ROMの制作過程」単著 1993年4月電子情報通信学会 信学技報 (1993-04)
- 12 「ハイパーカードでBASICを学ぶCAIソフトMacBASICの制作について」共著 1993年4月 電子情報通信学会 信学技報 (1993-04)
- 13 メディアの系譜学
- 13-1 「メディアの系譜学1」単著1995年3月 金城学院大学論集 人文科学篇 第28号
- 13-2 「メディアの系譜学2」単著 1996年3月 金城学院大学論集 人文科学篇 第29号
- 14 "The Virtual Meiji Village" Computer Graphics, ACM Siggraph, Volume 30 Number 3 1996, 1996年11月
- 13-3 「『共同幻想論』の射程と世界思想上の位置—メディアの系譜学3」単著 1997年3月 金城学院大学論集 人文科学篇 第30号
- 13-4 「マクルーハン再発見のために—メディアの系譜学4」単著 1998年3月 金城学院大学論集 人文科学篇 第31号
- 13-5 「メディアとしての想像力—メディアの系譜学5」単著 1999年3月 金城学院大学論集 人文科学篇 第32号
- 13-6 「メディアオロジーとは何か—メディアの系譜学6」単著 2000年3月 金城学院大学論集 人文科学篇 第33号
- 15 情報文化学会編『情報文化ノートブック』『『バーチャル明治村』の開発』単著 2001年10月 森北出版
- 16 「名古屋汎太平洋平和博覧会の背景」単著 2005年3月 金城学院大学論集人文科学編第1巻第1・2合併号
- 17 「1937年開催の名古屋汎太平洋平和博覧会会場の3D-CG・Webアーカイブによる再現」単著 2005年6月 Computer&Education Vol.18
- 18 「You Tubeで公開した金城ポッドウォーク・コンテンツの分析」単著 2008年 金城学院大学人文・社会科学研究所紀要第12号
- 19 「Web2.0時代におけるコンテンツ配信サービスの試み—産学協同プロジェクト「金城ポッドウォーク」を題材にして—」単著 2008年3月 金城学院大学論集人文科学編第4巻第2号
- 20 「大学配信型動画コンテンツの制作とWebによる視聴実態調査」共著 2009年7月 金城学院大学人文・社会科学研究所紀要 第13号
- 21 「大学の地域連携の取り組みのための実践研究—金城ポッドウォークの新展開—」共著 2010年9月 金城学院大学人文・社会科学研究所紀要第14号
- 22 「産学連携による地域活性化プロジェクト」共著 2010年9月 金城学院大学人文・社会科学研究所紀要第14号（第1著者小室達章）
- 23 「台湾の社区营造における地域活性化の特質」共著 2011年7月 金城学院大学人文・社会科学研究所紀要第15号（第1著者小室達章）

- 24 「台湾の大都市部と地方の中規模都市における地域活性化の特徴—教育と国際交流の視点から—」共著 2012年9月 金城学院大学人文・社会科学研究所紀要第16号 (第1著者小室達章)
- 25 「アメリカの映画産業を対象事例とした大学における映画教育プログラム開発に関する調査研究」共著 2013年3月 金城学院大学人文・社会科学研究所紀要 (第1著者後藤昌人)

【翻訳】

- 1 『マルクス主義50語』共訳 1982年3月 朝日出版社 (原著 Pierre Masset, Les 50 mots-cles du marxisme)
- 2 『怪傑デカルト』共訳 1992年4月 工作社 (原著 Dimitri Davidenko, Descartes, le scandaleux)
- 3 『メディアエンジニアリング』単訳 1998年9月 海文堂 (原著 Steve West, Mark Norris, Media Engineering: A Guide to Developing Information Products)